

第Ⅰ学年		教科名	使用教科書	光村図書 国語Ⅰ		担当教員	三宅 由祐	
【身につく力】 豊かな「自己表現力」ーお互いの思いや考えを伝え合う力ー				評価	評価の観点		評価の方法	
				知識・技能	言葉の特徴や使い方、話や文章に含まれている情報の扱い方、我が国の言語文化に関する知識及び技能を身につけ、様々な場面で活用する力を取得しているかを評価する。		・定期テスト ・小テスト	
				思考・判断・表現	言語を通して正確に理解したり適切に表現する力や、言語をてがかりとしながら論理的に思考する力や豊かに想像する力がついているかを評価する。		・定期テスト ・レポートや新聞作成と いった、 「学習した事項を活用し て取り組む」課題	
				主体的に学習に 取り組む態度	授業の課題や目標を達成するために自分が工夫して取り組んだことや意識したことを振り返ることができるかや、学習によって得た新たな見解や自身の変容について捉えることができるかを評価する。		・振り返りシートの 記述 ・課題への取組	
【学習目標】 (1)社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる。 (2)社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 (3)言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。								
【授業の進め方（授業のポイント）】 ・物語文や論説文、古文の読み取りを通して様々な人々の経験や考え方に触れ、時に寄り添い、時に批判をしながら、自身の「考え方」を形にしていきます。 ・授業の中で触れる漢字や文法、ことわざなどを身につけることは、自身の「考え方」をより豊かに、正確に表現するために必要なものです。「ただ暗記して終わるもの」ではなく、「日常でどのように使うのか」を考えながら身につけていきましょう。 ・文章を読んで内容を理解するだけでなく、読んだことに対する自分の思いや考えを言葉にしていきます。繰り返し自分の考えを言葉にしていくことで、思考力や表現力を高めていきます。これを積み重ねていくことで「豊かな自己表現力」を実現していきます。					【家庭学習について】 ・教科書を読んで意味が分からなかった語句の意味調べをしておくだけでも、【学習目標】の（１）の達成に繋がります。 ・本や新聞などの文章を読んで様々な人の考え方に触れ、それについて思いを巡らせることが（２）の達成に繋がります。ぜひたくさん文章に触れてください。 ・模試や受験では、「初めて見る文章」を読んで、問題に取り組むことになるので、なるべく色々なジャンルの文章を読み、たくさん問題を解いていくことが大切です。			
Ⅰ 学期		Ⅱ 学期			Ⅲ 学期			
1 学びをひらく	始まりの風 音声のしくみや働き 漢字の組み立てと部首	4 心の動き	大人になれなかった弟たちに… 星の花が降るころに 方言と共通語 漢字の音訓 漢字に親しもう		7 価値を見いだす	「不便」の価値を見つめ直す 漢字に親しもう 話題や展開を捉えて話し合おう		
2 新しい視点で	ダイコンは大きな根？ ちょっと立ち止まって 指示する語句と接続する語句	5 筋道を立てて	「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ 根拠を明確にして書こう 言葉の関係を考えよう		8 自分を 見つめる	少年の日の思い出 二十歳になった日		
3 言葉に 立ち止まる	空の詩 三編 比喻で広がる言葉の世界 様々な表現技法 言葉のまとまりを考えよう	6 いにしえの 心にふれる	いろは歌 蓬萊の玉の枝 今に生きる言葉					

第1学年	教科名	使用教科書	「中学生の地理」「中学生の歴史」(ともに帝国書院)	担当教員	佐飛 紀子 ・ 大内 仁之輔
------	-----	-------	---------------------------	------	----------------

付けたい 資質・能力	社会参画力	評価	評価の観点	評価の方法
		知識・技能	○社会的事象について(～は～である)理解し、その知識を身につけている。 ・用語・語句や特色・意味など概念に関わる知識 ○社会的事象などについて調べ、まとめる技能をつけている。 ・課題の解決に必要な情報を集める。【収集する】 ・収集した情報を見方・考え方を働かせて読み取る【読み取る】 ・読み取った情報を課題解決に向けてまとめる【まとめる】	・定期テストの 点数 ・ワーク ・パフォーマンス 課題
		思考・判断 ・表現	○【思考力・判断力】に関わって ・社会的事象をとらえ、社会的事象の意味や意義、それぞれの関連について、考察する。 ・社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて構想(複数の立場や意見を踏まえて選択・判断)している。 ○【表現力】に関わって ・適切な資料・内容や表現方法を選び、根拠や理由を明確にして、論理的に説明する。 ・仲間との話し合いで、仲間の主張を踏まえたり、取り入れたりして、立場や根拠を明確にして主張・議論している。→社会参画の視点	・定期テストの 点数 ・パフォーマンス 課題
		主体的に学習に 取り組む態度	○学習単元・課題について主体的に調べ分かつようとして課題を意欲的に追究している。 ・単元の「見通し」をもつ ・他者と協働しながら粘り強く考える(試行錯誤しながらでも考えを持つ) ・振り返りで学んだことの意味について考える。 ○よりよい社会を考え、学んだことを生かそうとする。 ・学んだことを、社会生活にどう生かそうとするか。 ・よりよい社会を創るために、自分で「新たな問い」を作る	・振り返り ・パフォーマンス 課題

【授業の進め方(授業のポイント)】 *基本的には、教科書に沿って教科書のページ順に学習する。 *進度の目安は1時間で見開き2ページ進めることを原則とする。 *ノートを書く際に、「疑問に思ったこと」、「学んだこと」など、個人で考えることを積極的にメモを取って大切にすること。 →自分で考える習慣が自分を「深化」させ、振り返りを書くための手立てとなる。	【家庭学習について】 *自主学習ワークと3年間の総復習は、1つずつ○つけまですること。 ・まずは自分の力で取り組むこと。漢字で分からないものは、かな交じりで書く。 ・その後、教科書を見て分からなかったところを解く。→正しい漢字に訂正する。 ・最後に答え合わせをして、教科書を見ても分からなかった部分はチェックしておく。 *学習したことを多面的につなげるため社会的事象について、常に「アンテナ」を高く持つこと。
--	---

1学期		2学期		3学期	
【地理的分野】 第1部 世界と日本の地域構成	・世界の姿	【地理的分野】 第2章 世界の諸地域	・アジア州 「アジア州に工場を作ろう」 ・アフリカ州	【地理的分野】 第2章 世界の諸地域	・北アメリカ州 ・南アメリカ州 「経済成長か環境保全か」 ・オセアニア州
第2部 世界のさまざまな地域	・人々の生活と環境	【歴史的分野】 第3章 武家政権の成長と東アジア	・武士の世の始まり 「武士の暮らしから考察しよう」 ・武家政権の内と外 ・人々の結びつきが強まる社会	第1部 世界と日本の地域構成	・日本の姿
【歴史的分野】 第1章 歴史のとらえ方と調べ方 第2章 古代国家の成立と東アジア	・歴史の流れと時代区分 ・人類の登場から文明の発生へ ・東アジアの中の倭(日本) 「前方後円墳の役割を考察しよう」 ・中国にならった国家づくり ・展望する天皇・貴族の政治			【歴史的分野】 第4章 武家政権の展開と世界の動き	・大航海時代によって結びつく世界 ・戦乱から全国統一へ

第1学年	教科名	使用教科書	新編 新しい数学I（東京書籍）	担当教員	井崎 茜・野呂 潤平
------	-----	-------	-----------------	------	------------

付けたい 資質・能力	抽象的論理力	評価	評価の観点	評価の方法
【身につく力】 数学を学ぶと・・・ (1) ものごとに筋道を立てて考える力（論理的にものごとを考える力） (2) ものごとを深く考える力（ものごとの本質を見つける力） (3) ものごとを分かりやすく説明し、人に伝える力（説得力） (4) 一つ一つのことがらを結び付けて、新しい考え方を見つける力（クリエイティブな思考力） (5) 日常生活の中で生かされている様々な数学のよさが分かる。		知識・技能	学習の過程を通した知識及び技能の習得状況について評価を行うとともに、それらを既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかについても評価する。	定期テスト 小テスト 振り返りレポート
		思考・判断 ・表現	知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているかを評価する。	定期テスト 小テスト 振り返りレポート
	【学習の目標】 (1) 正の数と負の数、文字を用いた式と一元一次方程式、平面図形と空間図形、比例と反比例、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数理的に捉えたり、数学的に解釈したり、数学的に表現処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 数の範囲を拡張し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素や構成の仕方に着目し、図形の性質や関係を直観的に捉え論理的に考察する力、数量の変化や対応に着目して関数関係を見いだし、その特徴を表、式、グラフなどで考察する力、データの分布に着目し、その傾向を読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う。 (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度、多面的に捉え考えようとする態度を養う。		主体的に学習に 取り組む態度	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの変容を見出し、学習を調整しようとする態度や、他の単元や他の教科、日常生活などから現在の単元のつながりを見出すなど、多面的に捉えようとする態度を評価する。

【授業の進め方（授業のポイント）】 ・ノートの取り方を工夫する。 ➡ 黒板に書かれたことだけでなく、自分が大切だと思ったことや気づいたことも記述する。 ・分からないことを質問する。 ➡ 授業で分からなかったことは、そのままにせず必ず質問をして理解する。 ・毎時間の授業の振り返りをする。 ➡ 授業の振り返りをするすることで、授業のポイントだけでなく、今の自分の学習状況やこれからの学習の進め方についても振り返りをする。	【家庭学習について】 ・問題を解くときは、後で間違えた箇所が分かるように途中式を書く。 ・家庭学習を習慣化する。（特に、復習を大切にする。） ・基本的な問題は、繰り返し練習をする。 ・課題は必ず期限を守り、やり切ること。
---	---

1学期		2学期		3学期	
1章 正の数・負の数	1節 正負の数 2節 加法と減法 3節 乗法と除法 4節 正負の数の利用	3章 方程式	1節 方程式とその解き方 2節 1次方程式の利用	5章 平面図形	3節 おうぎ形
2章 文字の式	1節 文字を使った式 2節 文字式の計算 3節 文字式の利用	4章 変化と対応	1節 関数と比例・反比例 2節 比例の性質と調べ方 3節 反比例の性質と調べ方 4節 比例と反比例の利用	6章 空間図形	1節 いろいろな立体 2節 立体の見方と調べ方 3節 立体の体積と表面積
		5章 平面図形	1節 図形の移動 2節 基本の作図	7章 データの活用	1節 データの整理と分析 2節 データの活用 3節 ことがらの起こりやすさ

第1学年	理科	使用教科書	未来へひろがるサイエンスI（啓林館）	担当教員	橋元 秀太・青木 寛也
------	----	-------	--------------------	------	-------------

【身につく力】 (1)主体的に自然事象とかかわり、それらを科学的に探究しようとする態度。 (2)観察・実験を実行し処理する力、その結果を分析・解釈する力。そしてそれらの関係性や傾向を見だし、課題や仮説を設定する力。 (3)学んだことを次の課題や日常生活や社会に活用しようとする態度。	評価	評価の観点	評価の方法
	知識・技能	見通しをもって観察、実験などを行い、自然の事物・現象に対する概念や原理・法則の理解するとともに、探究の過程を通して科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	・定期テスト ・小テスト ・実験レポート ・パフォーマンス課題
	思考・判断・表現	問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、規則性、関係性、共通点や相違点、分類するための観点や基準を見だして表現している。	・定期テスト ・小テスト ・実験レポート ・パフォーマンス課題
【学習目標】 (1)自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3)自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	主体的に学習に取り組む態度	物質やエネルギーに関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとしている。生命や地球に関する事物・現象に進んでかわり科学的に探究しようとしている。生命を尊重し、自然環境の保全に寄与しようとしている。	・振り返りシート（学習前と学習後の比較） ・授業ノート ・パフォーマンス課題 ・課題への取り組み

【授業の進め方（授業のポイント）】 ・ノートの取り方を工夫する。 評価物に書かれているノートですが黒板に書かれたことだけでなく、自分が大切だと思ったことや気づいたことなどは特に強調して記述すると良いでしょう。また、板書は教科書の要点がまとめてあります。教科書を見なくても、「ノートを見れば分かる」というような、分からないところはノートを見て、復習できるように自分だけのノートが作成できるといでしょう。 ・観察・実験レポートや課題 観察・実験を行った際はレポート課題を提出してもらいます。授業内にレポート課題をする時間があれば、その時間内に提出してもらいます。無理であれば次の授業で提出にします。その際、授業内でおこなったことを忘れないようにできる限り当日に仕上げることをおすすめします。また、考察は自らが考え察したことを記入するものであるため、他の人の記述をまねするのではなく、自ら考えたことを書くようにしてください。考察での自身の考えが正しいか、間違っているかは重要ではありません。観察・実験を通して考えたことを自らの言葉で表現する力を身につけて欲しいと考えています。 ・分からないことを質問する。 授業で分からなかったことはそのままにせず、友人や教員必ず質問をするようにしましょう。	【家庭学習について】 ・家庭では、復習に重点を置いて計画的に勉強をしてください。その日にやった内容は、忘れないうち（その日）に復習しましょう。毎日短時間でも良いので継続して行うことが大切です。毎日行うことで学習の習慣もつきます。また、毎日繰り返し行うことで、苦手意識の克服にもつながります。 ・定期テスト〈中間・期末〉については、少なくとも1週間前から取り組み、ノートと教科書で復習した後、副教材である「理科の学習」の問題や、教科書に載っている問題を解いて理解できているか確認するようにしましょう。 定期テスト後は間違えた箇所を見直し、解き直しをノートにまとめることで、3学年時に各学年の自分の苦手箇所が素早く分かるようになります。
--	--

1 学期		2 学期		3 学期	
自然の中にあふれる生命	1、身のまわりの生物の観察 2、生物のなかま分けのしかた	身のまわりの物質	1 章 いろいろな物質とその性質 2 章 いろいろな気体とその性質 3 章 水溶液の性質 4 章 物質のすがたとその変化	活きている地球	1 章 身近な大地 2 章 ゆれる大地 3 章 火をふく大地 4 章 語る大地
いろいろな生物とその共通点	1 章 植物の特徴と分類 2 章 動物の特徴と分類	光・音・力による現象	1 章 光による現象 2 章 音による現象 3 章 力による現象		

第1学年	音楽	使用教科書	中学生の音楽Ⅰ・中学生の器楽	担当教員	平田 麻美
------	----	-------	----------------	------	-------

付けたい 資質・能力	音楽表現力	評価	評価の観点	評価の方法
【身に付く力】 ・しっかりとした発声で仲間とのびのび歌う力(歌唱・合唱) ・アルトリコーダーの運指を理解して演奏する力(器楽) ・音楽の良さを味わい、魅力を文章で表現する力(鑑賞) ・音符やリズムの組み合わせを工夫する力(創作)		知識・技能	歌唱や合唱、アルトリコーダー、創作などの表現活動では知識と技能を評価し、鑑賞活動では知識を評価します。	実技テスト (歌唱・合唱、アルトリコーダー、創作) 定期テスト
		思考・判断 ・表現	表現活動では、表現を創意工夫しているかについて評価します。鑑賞活動では音楽を形づくっている要素をもとにしながら、音楽の良さや美しさを味わって聴き、曲の魅力などを文章にして評価します。	鑑賞曲の各ワークシート (春、魔王、六段の調など) 合唱のワークシート (大切なものなど合唱曲)
【学習目標】 ・曲想と音楽の構造などとの関わりや音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱・器楽・創作の技能を身につける。 ・音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 ・主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。		主体的に学習に 取り組む態度	知識及び技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身につけたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど、自らの学習を調整しながら学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価します。	振り返りシート (歌唱・合唱、鑑賞、アルトリコーダー、創作)

【授業の進め方(授業のポイント)】 ①歌唱・合唱や器楽では、ある程度の練習を重ねると実技テストを実施します。練習の成果を発揮できるように、練習を大切にしましょう。また、お互いの表現を認め合い、実技テストでのびのびと表現できる雰囲気をつくりましょう。 ②鑑賞では、音楽の構造や雰囲気を感じ取りながらよさや美しさを味わい、曲の魅力を文章で表現しましょう。 ③創作では、四分音符や四分休符、八分休符をつかって簡単なリズム創作をします。テーマに沿って、自分なりの工夫をしましょう。	【家庭学習について】 授業で学んだことを復習して、理解を深めましょう。 様々な音楽に触れる機会を持ちましょう。
--	--

1学期		2学期		3学期	
【歌唱・合唱】	「校歌」 「主人は冷たい土の中に」	【歌唱・合唱】	「文化祭学年合唱曲」※未定 「赤とんぼ」	【歌唱・合唱】	「合唱曲」※未定 「浜辺の歌」
【鑑賞】	「春」	【鑑賞】	「魔王」	【鑑賞】	「箏曲 六段の調」
【アルトリコーダー】	「アルトリコーダーについて」 ドレミファソの運指	【アルトリコーダー】	「よろこびのうた」 「聖者の行進」	【アルトリコーダー】	「聖者の行進」
【創作】	リズム創作	【創作】	リズム創作		

第1学年	教科名	使用教科書	美術I（光村図書）	担当教員	藤川真奈美
------	-----	-------	-----------	------	-------

付けたい 資質・能力	表現方法を工夫し、創造的に表す力	評価	評価の観点	評価の方法
		知識・技能	・創作に必要な知識と技能を身につけ、自分の制作に生かしているか。 ・自分の作りたいものを、工夫して創造的に作っているか。	作品 ワークシート 定期テスト
		思考・判断 ・表現	・自ら作品のテーマやアイデアを発想し、それを深めて制作しているか。 ・作品を鑑賞したり他の人の意見を知るなどして、良さや新しい発見を感じ取れるか。	作品のデザインやアイデア 定期テスト ワークシート
		主体的に学習に取り組む態度	・もの作りを楽しみ、丁寧に仕上げようと工夫して、資料の収集、制作活動の計画や作品の完成に向けて、創意工夫が出来ているか。 ・自分の目標に向かって、新たな気づきや学びを得ているか。	作品への取り組みの様子 ワークシート

【授業の進め方（授業のポイント）】 ・様々な芸術作品を鑑賞し、自身の制作を工夫する。 （こんな作品を作ってみたい、どうやってつくるかなど、探求して作品を作っていく） ・さまざまな感性や表現があることを知り、表現を楽しんだり深めたりする。 ・授業ごとに学習を振り返り、気づきや思考の深まりを具体的に記録していく。 ・マッピングワークシートやプランニングワークシートを活用し、スモールステップで制作を進める。	【家庭学習について】 ・作りたいもののイメージを持ち、日常生活の中でアンテナを張って過ごす。 ・作りたいものが決まったら、情報や資料を積極的に収集する。
---	--

1学期		2学期		3学期	
・鉛筆デッサン ・平面構成 ・鑑賞「風神雷神」	・テーマに合わせてポージングを工夫し、見たものを見たとおりに描写できるよう効果的に鉛筆を使う。 ・抽象表現の良さを味わい、音楽やスポーツをヒントに動きや広がりのある絵をデザインする。 ・日本の美術文化の造形的なよさや美しさ、特性などを感じ取り、日本美術についての見方や感じ方を広げる。	・気持ちを伝えるデザイン ・木彫	・ポップアップカードの制作を通して、気持ちを伝えるデザインを考え、工夫して作る。 ・木材の特徴を生かし、用の美を意識して木彫作品を制作する。	・木彫続き ・「ポスター」制作のプランニング	・伝統工芸「木工」、木彫作品の鑑賞 ・学習したレタリング、ポスターカラー、色彩の学習を生かして、 ・視覚伝達デザインの基礎について学ぶ

第1学年	保健体育	使用教科書	新しい保健体育(東京書籍)	担当教員	荒木 宣
------	------	-------	---------------	------	------

付けたい 資質・能力	協力する力	評価	評価の観点	評価の方法
		知識・技能	種目の基本用語や技術の名称、ルールを理解しているか、健康な生活を送るための知識を習得しているかを評価する。 基本的な技術を習得し、それを実践できるか、また、試合や記録会で身に付けた知識や技能を生かして表現できるかを評価する。	定期テスト 実技テスト 試合の中で技能を発揮できているかどうかを観察
		思考・判断 ・表現	知識や技能を活用し、自身の課題を発見し、自身の考えを深めたり、他者に伝えたりすることができるかを評価する。	定期テスト 学習カード グループ、ペアでの話し合い活動で仲間の課題や出来映えを伝えているかを観察
		主体的に学習に取り組む態度	各領域に積極的に取り組むことを通し、自身の課題の発見や克服、記録の向上に努めている姿や仲間と協力している姿勢を評価する。	授業の観察 学習カード 保健プリントの 記述内容

【授業の進め方(授業のポイント)】 - 準備運動や補強運動を通して、怪我の防止や基礎的な筋力や体力の向上に繋げる。 - 基礎的・基本的な技術を習得に向けて、自他の課題と向き合いながら取り組む。 - ペアやグループの取り組みを積極的にこなす。 - 話し合い活動や振り返りを通して、自身の考えを深めたり、他者に伝えたりする。	【家庭学習について】 保健分野で学ぶ知識をもとにして、基本的な生活習慣の確立や健康な生活を送ること。
--	--

1学期		2学期		3学期	
【体育】 体づくり運動	新体力テスト 集団行動	【体育】 陸上競技	ハードル走	【体育】 陸上競技	長距離走
器械運動	マット運動	球技	バレーボール	球技	サッカー
球技	ソフトボール	ダンス	創作ダンス・現代的なリズムのダンス	【保健】 2章 心身の機能の発達と心の健康	体の発育・発達、呼吸器・循環器の発育・発達、生殖機能の成熟、異性の尊重と性情への対処、心の発達、自己形成と心の健康、心と体の関わり、欲求と心の健康、ストレスによる健康への影響、ストレスへの対処の方法
		武道	柔道	【体育理論】 1章 運動やスポーツの多様性	運動やスポーツの必要性和楽しさ、運動やスポーツへの多様な関わり方、運動やスポーツの多様な楽しみ方
		【保健】 1章 健康な生活と疾病の予防①	健康の成り立ちと疾病の発生要因 運動と健康、食生活と健康、休養・睡眠と健康、調和のとれた生活		

第1学年	保健体育	使用教科書	新しい保健体育(東京書籍)	担当教員	清水 さより・伊藤 亜佐子
------	------	-------	---------------	------	---------------

付けたい 資質・能力	協力する力	評価	評価の観点	評価の方法
		知識・技能	種目の基本用語や技術の名称、ルールを理解しているか、健康な生活を送るための知識を習得しているかを評価する。 基本的な技術を習得し、それを実践できるか、また、試合や記録会で身に付けた知識や技能を生かして表現できるかを評価する。	定期テスト 実技テスト 試合の中で技能を発揮できているかどうかを観察
		思考・判断 ・表現	知識や技能を活用し、自身の課題を発見し、自身の考えを深めたり、他者に伝えたりすることができるかを評価する。	定期テスト 学習カード グループ、ペアでの話し合い活動で仲間の課題や出来映えを伝えているかを観察
		主体的に学習に取り組む態度	各領域に積極的に取り組むことを通し、自身の課題の発見や克服、記録の向上に努めている姿や仲間と協力している姿勢を評価する。	授業の観察 学習カード 保健ノートの 記述内容

【授業の進め方(授業のポイント)】 ・準備運動や補強運動を通して、怪我の防止や基礎的な筋力や体力の向上に繋げる。 ・基礎的・基本的な技術を習得に向けて、自他の課題と向き合いながら取り組む。 ・ペアやグループの取り組みを積極的にこなす。 ・話し合い活動や振り返りを通して、自身の考えを深めたり、他者に伝えたりする。	【家庭学習について】 保健分野で学ぶ知識をもとにして、基本的な生活習慣の確立や健康な生活を送ること。
---	--

1学期		2学期		3学期	
【体育】 体づくり運動	新体力テスト 集団行動	【体育】 器械運動	マット運動	【体育】 ダンス	創作ダンス・現代的なリズムのダンス
陸上競技	ハードル走	球技	ソフトボール	球技	バスケットボール
球技	バレーボール	武道	柔道	【保健】 2章 心身の機能の発達と心の健康	体の発育・発達、呼吸器・循環器の発育・発達、生殖機能の成熟、異性の尊重と性情報への対処、心の発達、自己形成と心の健康、心と体の関わり、欲求と心の健康、ストレスによる健康への影響、ストレスへの対処の方法
		陸上競技	長距離走	【体育理論】 1章 運動やスポーツの多様性	運動やスポーツの必要性和楽しさ、運動やスポーツへの多様な関わり方、運動やスポーツの多様な楽しみ方
		【保健】 1章 健康な生活と疾病の予防①	健康の成り立ちと疾病の発生要因 運動と健康、食生活と健康、休養・睡眠と健康、調和のとれた生活		

第1学年	教科名	使用教科書	新しい技術・家庭 技術分野 未来を創るTechnology	担当教員	大槻 晃央
------	-----	-------	-------------------------------	------	-------

付けたい 資質・能力	社会の変化に対応する力 ～家庭や身の回りの生活の中で～	評価	評価の観点	評価の方法
【身に付く力】 (1)家で家具が壊れた際に簡単な修理ができる。 (2)自分で必要な収納品を考え、デザイン・設計を行い、製作することができる。 (3)コンピュータについての知識が増え、いくつかのソフトウェアが使用できる。 (3)情報モラルを身に付け、トラブル等への未然防止へと繋がる判断力が身につく。		知識・技能	生活や社会で利用されている材料と加工の技術についての基礎的な理解とそれらに係る技能・材料と加工の技術と生活や社会、環境との関わりについての理解を図る。 ・等角図→説明書を読み取り、作品を立体的に把握する力があるか。 ・罫書き、切断、組立→加工実習における基本が習得できているか。	定期テスト 小テスト（製図） 罫書き（木材加工） 切断（木材加工実習） 組立（木材加工実習）
		思考・判断 ・表現	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けているか。 →等角図では、自作で立体を描く、実際の大きさより縮図で描ける。実習では、技能習得に向けて改善策やアドバイスができる。	定期テスト 小テスト（製図） 自己評価シート（内容） プリント内の考察（内容）
		主体的に学習に 取り組む態度	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしているか。 →身の回りの物がどんな材料でできているか、どんな加工がされ、組み合わせられているかを調べたり、実習に意欲的に参加しているか。	プリントの記述 自己評価シート（内容） 夏休みの課題

【授業の進め方（授業のポイント）】 ○板書を丁寧にしながら、授業内での補足や説明をしっかりとメモしていくこと。 →大事な単語をプリントに記入する。自分の考えを書くスペースは間違っても良いので、そのとき考えたことを記入する。補足として、例えば話や由来などを話すので、メモ欄や空いたところにメモをとれば、見返したときにわかりやすいプリントに仕上がる。 ○実習では、工具の使い方動画やヒントを参考にし、練習の時間にしっかりと試すこと。 →お手本動画や解説プリントをしっかりと見る、練習時間は積極的に取り組み、わからないことはちゃんと質問する。 ○振り返りカードを丁寧に記入すること。 →授業で学んだこと、疑問に思ったこと、質問などを記入しておけば、チェックした際、質問にコメントできたり、次の授業で全体に補足をしたり、個別で机間指導するなど、教師側も授業改善や修正ができます。各週の授業なので、実習のときには、次回の目標や予定を記入しておくのと、どの作業から始めれば良いかがすぐに思い出せて、スムーズに作業に取りかかれる。	【家庭学習について】 ○プリントの単語だけを見るのではなく、説明できるくらい意味も確認しておく。 → 教科書の各ページにQRコードがついた ので、読み込んで、理解を深めておく。 →プリントに書いた補足や由来のメモが振り返りカードの記述や定期テストで活きる。 ○実習で使った工具や使い方、決まりなどは必ず振り返っておくこと。 →定期テストや次回の実習に活かせる。 ○日常生活の中で、製品に利用されている材料について、なぜその材料が使われているかについて考えるようにする。壊れた物がなぜ壊れたのかを考える。 →学習への理解が深まる。
--	--

1学期		2学期		3学期	
技術分野のガイダンス (1)生活や社会を支える情報の技術 (2)材料と加工の技術による問題の解決	①安全に利用するための情報モラル ②身の回りの材料と加工の技術 ③木材、金属、プラスチックの特性 ④材料に適した加工方法 ⑤丈夫な製品を作るために ⑥材料と加工の技術の工夫を読み取ろう ⑦製作品を構想し、設計しよう	(2)材料と加工の技術による問題の解決	①問題を発見し、課題を設定しよう ②製作品を構想し、設計しよう ③製作の計画を立てよう ④作業手順を考えて製作しよう	(2)材料と加工の技術による問題の解決 (3)社会の発展と材料と加工の技術	(2)⑤問題解決の評価、改善・修正 (3)①材料と加工の技術の最適化 ②これからの材料と加工の技術

第1学年	教科名	使用教科書	新編 新しい技術・家庭 家庭分野(東京書籍)	担当教員	栗栖 淳子
------	-----	-------	------------------------	------	-------

付けたい 資質・能力	社会の変化に対応する力	評価	評価の観点	評価の方法
【身に付く力】家庭科を学ぶと・・・ (1) 身近な生活場面での衣食住などの社会の変化に伴った自立を目指すことができる。 (2) 自分から家族、家族から地域・社会へと段階的に視野を広げ、自分や家族のために、社会の変化に伴ったより良い生活を工夫する力を身につけることができる。	【学習目標】 ・生活の中で食事が果たす役割を理解する。 ・中学生に必要な栄養の特徴がわかり、健康に良い食生活について理解して自身の生活をより良くする。 ・食品や用具の安全と衛生に留意し、簡単な調理ができる。 ・衣服と社会生活の関わりが分かり、目的に応じた衣服の選択や着用品ができる。 ・衣服の計画的な活用必要性や、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解し、手入れや補修が適切にできる。 ・住まいの家庭内事故や災害時の危険性について理解し、自宅での安全対策ができる。	知識・技能	生活の衣・食・住についての基礎的な理解とそれらに係る技能、家族や地域との関わりについての理解を図る。	定期テスト 実技テスト・実習 ワークシート(内容) レポート(内容)
		思考・判断 ・表現	現代または将来の生活から自分や家族の問題を見いだして課題を設定し、より良くする方法をを考えて実践・改善しながら課題を解決する力を身に付けているか。	定期テスト ワークシート(内容) レポート(内容)
		主体的に学習に 取り組む態度	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けた課題の解決に向けて、深く考えて粘り強く取り組み、振り返って改善することで生活の中で実践しようとしているか。	ワークノートの記述 振り返りシート(内容) 長期休暇中の課題

【授業の進め方(授業のポイント)】 ・説明をしっかりと聞く。 → 黒板に書かれたことだけでなく、自分が大切だと思ったことや気づいたこともメモし、分からないことは質問する。 ・その時間の課題に挑戦する。→ 苦手な活動でも挑戦する。実習では見本をよく見て、アドバイスを参考にしながら根気強くやってみる。グループでの交流や、協力することも大切にする。 ・授業の振り返りをする。 → 授業の振り返りをするこで、授業のポイントだけでなく今の自分の課題やこれまでの学習の進め方についても振り返りをする。	【家庭学習について】 ・学習したことを家庭でも実践し、生活の改善をしていく。 → 授業の学習内容について実践力を高める。 ・時事問題に関心を持ち、家族や社会と自身の生活のつながりを考えていく。 → 授業の学習内容について考えを深める。 ・長期休暇中の課題には、計画的に丁寧に取り組む。
---	--

1学期		2学期		3学期	
家庭分野のガイダンス	○ ガイダンス 「小学校で学んだことの振り返りと中学校3年間で学ぶこと」 「家族と家庭生活」	1編4章 日常食の調理	○ 食生活 「肉の調理」 「持続可能な食生活」	3編1章 住まいの役割	○ 住生活 「住まいの役割」 「安全な住まい方」
1編1章 食事の役割と中学生の栄養の特徴	○ 食生活 「食事の役割」 「栄養の特徴」 「中学生に必要な栄養素」 「食中毒の防止」 「お弁当づくり」	2編1章 衣服の選択と手入れ	○ 衣生活 「衣服の役割」 「私らしさとT.P.O.」 「日本の衣服の文化」 「衣服の活用」「衣服の選択」 「衣服の手入れと補修」		
1編4章 日常食の調理					

第1学年	教科名	使用教科書	三省堂 ニュークラウンI	担当教員	岩崎 佳子
------	-----	-------	--------------	------	-------

付けたい 資質・能力	五つの領域の言語活動を通してコミュニケーションを図る力	評価	評価の観点	評価の方法
		知識・技能	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的话题や社会的な話題について、その内容を捉え、聞いたり、読んだり、話したり、書いたりする技能を身に付けている。	定期テスト パフォーマンステスト
		思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、必要な情報や概要、要点を聞いたり、読んだりして捉えている。 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的に英語で話したり、書いたりしている。	定期テスト パフォーマンステスト
		主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、言語活動を通して主体的に伝えようとしている。	パフォーマンステスト

【授業の進め方(授業のポイント)】 (すべて言語活動を通す) ①スモールトーク等で単元または本時に関連づかせ、関心のある出来事や、日常または社会の出来事について、個別または協働的に考えながら話す。 ②単元または本時のゴールの確認を行い、見通しを持つ。 ③教材に基に、知識・技能を身に付ける活動(例:新出単語を使った言語活動)を通して指導する。 ④教材を基に、身につけた知識・技能を活用し、言語活動を通して(自分事とし考え)書くこと及び話すことについての課題に取り組む。 ⑤ふり返り:ゴールに照らし、どんなことができるようになったのかを振り返る。	【家庭学習について】 個別最適な学びを充実するため、 ○テラトークを活用し、五領域を活用できるような課題を提示する。(学習時間の把握) ○生徒自らが主体的に取り組めるような「自身の課題」にもとづいた課題に取り組む。
--	---

1学期		2学期		3学期	
●Starter ●Lesson1 About Me ●Lesson2 My Hero ●Lesson3 My treasure ●Lesson4 My Summer Plans	●小学校で学んだことをふり返る。 ●be動詞と一般動詞(肯定文、否定文、疑問文)自己紹介、友だちのことを知る。 ●助動詞can(肯定文、否定文、疑問文)自分の得意なことや好きなことを伝える ●be動詞(肯定文、否定文、疑問文)を使って「大切にしているもの」について考え、発信する。 ●夏休みにいきたいところや、やってみたいことについて書いたり、話したりする。	●Lesson5 Ms.Brown's Family ●Lesson6 School Life in the U.S.A. ●Lesson7 Athletes with Spirit	●人気のある人物やキャラクターを紹介する。(三人称単数現在) ●日本と海外の学校生活の違いを知る(現在進行形) ●雑誌に掲載された、スポーツの特集記事を読む。(一般動詞過去形) ●道順をたずねる、説明する ●物語を読んで、要点を捉える	●Lesson8 Discover Japan ●Lesson9 Emergency Food	●絵日記を書く(be動詞の過去形) ●冬休みについてやりとりする(過去進行形) ●look A ●災害への備えと非常食について考える(助動詞will) ●映画のコラムの要点を捉える(be going to)